

平成30年度 茨城県立図書館 図書館評価（指標）実績について

1 図書館評価（指標）について

（1）概要

図書館の運営状況については、図書館法第7条の3及び第7条の4において「運営の状況に関する評価等，運営の状況に関する情報の提供」について規定されており，平成13年7月18日文部科学省告示第132号「公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準」及びこれを改訂した平成24年12月19日文部科学省告示第172号「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」においても，公立図書館は図書館サービスその他図書館の運営に関する適切な指標を選定し，これらに係る目標を設定して，各年度の目標達成状況等に関し自ら点検・評価を行うよう努めなければならない旨明記されている。

茨城県立図書館は平成14年度から評価指標及び数値目標について検討し，平成15年8月に83項目（15年度は81項目，他の2項目は16年度からの評価）の指標と平成18年度までの数値目標を策定した。その後は，3年ごとに評価指標及び数値目標を策定し評価している。平成30年度は，平成30年度までの3年間を目標に策定した28項目における評価の3年目にあたる。

（2）茨城県立図書館が策定した28項目の指標の内訳

- ① 県民サービスに必要な資料を確保し，提供することに関する指標
所蔵資料冊数，所蔵資料点数（個人貸出用視聴覚資料）2項目
- ② 県域全体へのサービスに関する指標
ホームページのアクセス件数 茨城県図書館情報ネットワークアクセス件数 2項目
- ③ 茨城コレクションの充実とそれを用いたサービス（郷土資料）に関する指標
郷土資料蔵書数，郷土レファレンス件数等3項目
- ④ 図書館の利用に障害のある方へのサービスに関する指標
大活字本の所蔵数，外国語資料の所蔵数等 5項目
- ⑤ 課題解決支援，利用者の情報活用能力の向上に関する指標
地域支援（ビジネス支援）の講座等参加定員に対する参加者の割合，レファレンス件数等4項目
- ⑥ 利用満足度に関する指標
満足度調査1項目
- ⑦ 市町村立図書館への支援に関する指標
相互貸借貸出点数，市町村からのレファレンス件数，学校図書館支援用図書の貸出学校数等5項目
- ⑧ 図書館未設置市町村への支援に関する指標
図書館未設置市町村への相互貸借貸出点数等3項目
- ⑨ 市町村立図書館からの信頼度に関する指標
信頼度調査1項目
- ⑩ 職員の研修に関する指標
研修の実施回数等2項目

2 平成30年度の実績について

（1）目標達成率（目標値に対する実績）について

平成30年度図書館評価についての指標の項目数	28
内 達成率100.0%以上の項目数	13
99.9%～90.0%の項目	1
89.9%～80.0%の項目	4
79.9%以下の項目	10

全28項目のうち，達成率が80.0%以上のものは18項目，達成率が79.9%以下のものは10項目あった。

(2) 主な項目の状況

項 目	目標値	30年度実績	達成率
所蔵資料冊数（個人貸出用図書）	760,000点	759,739点	100.0%
所蔵資料点数（個人貸出用視聴覚資料）	40,250点	40,409点	100.4%
郷土資料蔵書数	117,700件	119,505点	101.5%
レファレンス件数	18,100件	15,959点	88.2%
団体貸出用図書の貸出点数	25,000点	35,760点	143.0%

3 目標達成率についての評価

100.0%以上	達成
99.9%～80.0%	ほぼ達成
79.9%以下	改善を要す

○達成率79.9%以下の主な項目

項 目	目標値	30年度実績	達成率
地域支援(ビジネス支援)の講座等参加定員に対する参加者の割合	45.0%	23.0%	51.1%
対面朗読室利用回数	60回	40回	66.7%
(市町村立図書館に対する)相互貸借貸出点数	8,500点	6,726点	79.1%

○達成率79.9%以下の項目への今後の対応

財政状況が厳しい中ではあるが所蔵資料の充実に努め利用者に提供していくとともに、ビジネス支援や市町村支援、障害者支援など、さまざまな図書館サービスについて、利用を呼びかけるチラシの配布や当館ホームページへの各種案内の掲載など広報を積極的に行って、さらなる利用促進に努力する。ただし、相互貸借件数については、今後、「遠隔地貸出サービス」を2020年2月から開始することから更に減少することも考えられることから、「相互貸借件数」と「遠隔地貸出サービス件数」を併せた件数で評価することを検討する。